

児童養護施設児童自立支援2023年

児童養護施設を巣立つ子どもたちの卒業記念品を贈呈 2023.03.16

交流のある児童養護施設6園（京都府京都市5園・兵庫県丹波市1園）から、本年度に巣立つ児童（24名）に角谷建耀知財団から卒業記念品をお贈りしました。

児童養護施設で暮らすほとんどの子どもたちは、18歳の高校卒業と同時に社会に巣立っていきます。新しい環境の中で、様々な壁にもであうことでしょう。そんな時「言葉」は常に自分寄り添ってくれる味方になると思います。昨年施設を巣立った先輩から、今年巣立つ後輩たちに送りたい言葉を選んでもらい、図書カードにその言葉をおさめて、お贈りしました。

何か困ったとき、悩んだ時には、私たちのことを思い出して連絡をくださいね。という想いを込めて、一人ひとりのイニシャルに合わせたパスケースも選ばせていただきました。

新しい世界へ、自分を信じ「ありがとう」の感謝の言葉をたくさん使い、自分のもらった「ありがとう」を次の誰かにつなげる「俵せの輪」を紡げる豊かな人生を歩まれることを願っています。

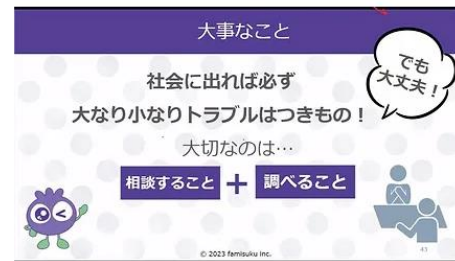
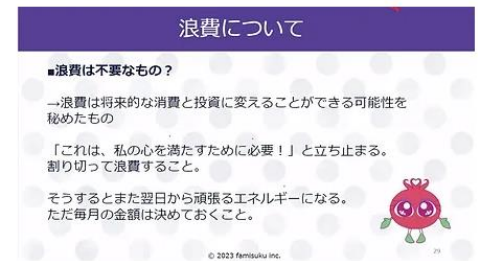


児童養護施設の中高生を対象にオンラインワークショップを開催しました 2023.10.09

養護施設を巣立っていく児童たちは、さまざまな側面で「お金」と向き合うこととなります。子どもたちへの金融教育が教育現場にも取り入れられ始めましたが、もっと生活に近い場所で子どもたちが必要とする情報・知識を楽しく得てほしいと、一般社団法人日本金融教育支援機構のご協力を得て「生活と学ぶ8つのお金の力」と題してオンライン講義を実施しました。

- ・家を借りるときに必要なお金
- ・分割払いとリボ払いの違い
- ・消費・浪費・投資の違い
- ・社会保険や民間保険の酒類や考え方
- ・詐欺だと気付いたときの対処法
- ・購入とレンタルのメリットデメリットの比較の必要性など、

社会人1年目の生活を舞台に、1年を通して出会う出来事をクイズにして楽しく学びました。



参加者からは、

- ・クイズに間違っ、もっと学ばないといけないことがあるんだとわかった。
- ・ご祝儀に関するマナーなど、お金に関するマナーも知れてよかった。
- ・知らないことが多くて自分のためになった。「先取貯蓄」の考え方が印象的だった。
- ・消費デザインを編集していきます。
- ・難しい言葉があったけど、フェイス・ポイント制でとても楽しめました。

とのコメントがありました。

大切なのは、学ばないといけないことを知ること。
困ったことが起きたり、悩んだら、相談すること。そんなことにも気づいてくれた時間になったようです。

これからも、児童養護施設で過ごす児童たちの自立支援を継続してまいります。



児童養護施設のことどもたちに、クリスマスプレゼントをお届けしました。 2023.12.16

角谷建耀知財団とわかさ生活は、12月16日、クリスマスを前に、京都市内と丹波市内にある6つの児童養護施設の子ども達に、協同でクリスマスプレゼントをお届けしました。

- <お届けした品物>
- 図書カード
 - ブルブルくんキャンディ
 - ブルブルくんのノート・塗り絵
 - ブルブルくんの絵本3冊セット

大人でも目を見張るような変化続きの社会、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくには、考える力と知識、そしてそれを行動する力が必要です。
書籍は、彼らのスピードに合わせて、ともに考え・感じ、確実に彼らの成長をサポートしてくれます。
子どもたち一人ひとりの未来に向き合うところが少しでも前向きに、希望にあふれるものになることを願っています。

